

こうくうないほうかいじょう

# 口腔内崩壊錠について

## － お薬の形のはなし －

1980年代に行われたシルバーサイエンス研究では、「高齢者が飲みやすい剤形（薬の形）は錠剤、カプセル剤、散剤、顆粒剤の順であるが、最も飲みやすい錠剤でも高齢者は様々な問題を抱えており、更に飲みやすい剤形開発が望まれる」と報告されました。

一般的に高齢になると嚥下機能（飲み込む機能）が低下します。これに対応するため、錠剤でもより服用しやすい形を研究して開発されたものが**口腔内崩壊錠**です。今回は口腔内崩壊錠について御案内いたします。



### 【口腔内崩壊錠とは】

- ・外形は錠剤と同じです。
- ・少量の水分で速やかに溶けます。
- ・口腔粘膜からは吸収されません。

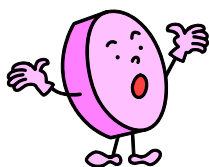
### 【従来の錠剤との違い】

#### ○長所

- ・唾液で溶けるため、嚥下困難な方（例えば脳卒中後の患者さん）や、水分の摂取制限のある方（例えば透析の患者さん）などに向いています。

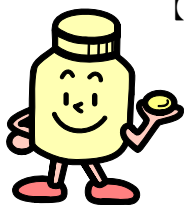
#### ○短所

- ・もろいものがあり、包装から取り出す時に割れることがあります。
- ・湿気に弱いものがあり、飲む直前に包装から取り出す必要があります。



### 【服用する際の注意点】

- ・寝たままの状態の時は、水で飲んでください。
- ・従来の錠剤と区別が付きません。薬の中には十分な水で飲まなければならない薬もあるため、勝手に判断しないで、水なしで飲んでもいいか薬剤師に確認してください。
- ・従来の薬と同じように水で飲むこともできます。他の薬と一緒に、水で飲んで差支えありません。



胃潰瘍治療薬や血糖降下剤などの口腔内崩壊錠がすでに市販されていますが、最近、高血圧治療薬の口腔内崩壊錠が発売されました。

当院では8品目の薬を採用していますが、現在処方されている薬を口腔内崩壊錠に変更することはできませんのでご了承下さい。